

FIREWIRE SOLO

FireWire Mobile Audio Interface for Songwriters/Guitarists

Quick Start Guide

This guide is intended to help get you started quickly. In order to achieve optimal usage of your new FireWire Solo, we recommend that you carefully study the enclosed product manual, either after completing the process described in this guide or before.

ENGLISH • FRANÇAIS • DEUTSCH • ESPAÑOL • ITALIANO • 日本語

M-AUDIO

はじめに

FireWireSoloをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。FireWireSoloは、ノートブックコンピュータでもデスクトップでも場所を選ばずお使い頂ける、プロフェッショナルなモバイルオーディオインターフェイスです。IEEE-1394a (FireWire™) バスの使用による利便性と信頼性の高さはもとより、マイク、インストゥルメント、ラインレベルの入力端子を装備した高性能、高解像度オーディオインターフェイスを提供します。またモバイルに最適な軽量、コンパクトで洗練されたデザインです。

本クイックスタートガイドはFireWireSoloの基本操作を解説します。詳しい情報や応用操作については、ユーザーズマニュアルをご参照下さい。



重要： FireWireSoloには6ピン→6ピンの高品質なFireWireケーブルが付属しています。FireWireSoloの性能を十分に活かせるよう付属のケーブルまたは同等品質のFireWireケーブルを使用して下さい。FireWireSoloをバス電源供給（外部電源不要）で動作させるには、コンピュータに6ピンFireWire端子が装備されている（但しコンピュータの6ピンFireWire端子がバス電源供給をサポートしている場合に限ります）必要があります。コンピュータが4ピンFireWire端子の場合やバス電源をサポートしていない6ピンFireWire端子の場合には、同梱の電源アダプタを使用しなければFireWire Soloは動作しません。

注意： FireWireという呼称は、コンピュータの製造会社により異なりIEEE1394a、1394またSony社ではiLinkと呼ばれます。このマニュアルでは、FireWireと呼称しています。詳しくは、お使いのコンピュータのマニュアルを参照して下さい。

重要 - IEEE 1394“FireWire”について：

FireWireのホットプラグによる問題の発生が報告されていますので、問題を未然に防ぐため以下の点に注意してご使用下さい（ホットプラグとは、FireWireバス電源供給「6ピン→6ピン」で動作するFireWire機器をコンピュータの電源が入っている状態で脱着することです）。ホットプラグを行うと、FireWire周辺機器やホストコンピュータのFireWire端子等が損傷して使用不可能になる事例がまれに発見されています。M-AudioのFireWire機器に関しては、優秀なエンジニアにより厳密にテストを繰り返して、FireWireの産業規格に適合する製品を作り続けていますが、お使いのコンピュータの種類によっては、ホットプラグを行うことで不具合が発生するという事態も起こり得ます。

このような事態を回避するために、M-AudioのFireWire製品を含むいかなるFireWire機器においても、ホットプラグを行わないよう充分に注意して下さい。必ずコンピュータとFireWire機器の両方の電源が入っていない時に、コンピュータとFireWire機器をFireWireケーブルで接続します。FireWireケーブルで接続した後、必ず最後にコンピュータの電源を入れて下さい。6ピンFireWire端子（IEEE1394）を装備したコンピュータをお使いの場合、6ピンのFireWireケーブルをまずFireWire機器に接続し、その後、FireWireケーブルのもう一方の端をコンピュータのFireWire端子に接続します。必ずFireWire機器をケーブルで接続した後、コンピュータの電源を入れて下さい。

M-Audioでは、ユーザーの皆様のリスクを少しでも軽減するために、この問題について更に詳しく調査を進めています。ホットプラグを含む重要な問題については、M-Audioのウェブサイト www.m-audio.com で常に新しい情報を公開していますのでご参照下さい。

動作環境

FireWireSoloをインストールする前に、お使いのコンピュータが以下の必要動作環境に適合することを確認して下さい。

Windows

- Pentium III – 500 MHz以上
- 128 MB以上のRAM
- Windows XP (SP2) DirectX 9.0b以降
- FireWire端子搭載またはFireWire PCIカードがインストール済みのコンピュータ

FireWire SoloではWindows 98/ME/2000は非対応です。

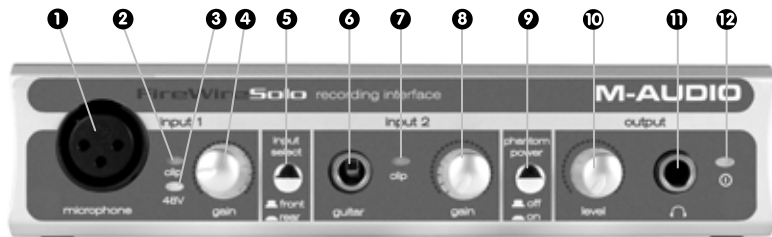
MacOS

- Macintosh G3/G4* 500MHz以上
- Mac OS X 10.2.8以降、256MB以上のRAMまたは
- Mac OS X 10.3.5以降、512MB以上のRAM
- FireWire端子搭載またはFireWire PCIカードがインストール済みのMacintosh

*CPUアクセラレータカードは非対応です。

Apple DVDプレーヤーでDolby DigitalやDTS/パススルーサポートにはMac OS X 10.3.5以降が必要です。

フロントパネルのコントロールと接続端子



1. マイクフォン入力端子

マイクレベルの信号を受信するバランスXLR端子です。この端子は (5) のフロント/リア入力セレクターが前に出た状態で「Front (フロント)」に設定されている時に使用できます。この端子からの入力信号はDAWソフトウェアでステレオ入力ペアの左側のモノラル信号として表示されます。

2. クリップ・インジケータ

マイクフォン入力のシグナルレベルが-1dBFSを超えるクリッピング発生時にLEDが点灯します。Clip LEDが頻繁に点灯する場合には、マイクフォン入力ゲインレベル (4) を下げて下さい。

3. ファンタム電源インジケータ

ファンタム電源スイッチ (9) を押すと点灯し、+48VDCがマイクフォン入力端子 (1) に供給されていることを示します。

4. マイクフォン入力ゲイン

このノブはマイクフォン入力端子 (1) の入力ゲインを調整します。可変ゲインは0dBから+40dBです。

5. フロント/リアパネル入力セレクタ

このスイッチでフロントパネルまたはリアパネルから有効にするアナログ入力端子を選択します。スイッチが[Front]の外に出た状態ではフロントパネルのマイクロフォン入力端子 (1) とギター入力端子 (6) が有効です。スイッチが[Rear]の内に入った状態ではリアパネルのライン入力端子 (19) が有効です。

6. ギター入力端子

インストゥルメント・レベルの信号を受信するアンバランス1/4 TS入力端子で、ギター、ベース等のインストゥルメント・レベルの音源を接続します。この端子は (5) のフロント/リアパネル入力セレクタが[Front] (外に出た状態) の時に有効です。この端子からの入力信号はDAWソフトウェアでステレオ入力ペアの右側のモノラル信号として表示されます。

7. クリップ・インジケータ

ギター入力のシグナルレベルが-1dBFSを超えるクリッピング発生時にLEDが点灯します。Clip LEDが頻繁に点灯する場合には、ギター入力ゲインレベル (8) を下げて下さい

8. ギター入力ゲイン

このノブはギター入力端子 (6) の入力ゲインを調整します。可変ゲインは0dBから+30dBです。

9. ファンタム電源スイッチ

+48Vのファンタム電源のON/OFFを切替え、外部電源の必要なコンデンサーマイクを使用することができます。ファンタム電源がONの時、ファンタム電源インジケータ (3) のLEDが点灯します。

注意： ファンタム電源がONの時でも、マイクロフォン入力端子にダイナミックマイクロフォンやラインレベル機器を接続することができます。但し、リボン・マイクロフォン等のような古いタイプのマイクロフォンは、ファンタム電源がONになっていることによって損傷する恐れがあります。また、雑音が聞こえる場合もあります。ファンタム電源の可否に関してはお使いのマイクの取扱説明書を参照して下さい。

10. 出力レベルコントロール

このノブはリアパネルのライン出力端子 (18) とフロントパネルのヘッドフォン出力端子 (11) の出力レベルを調整します。

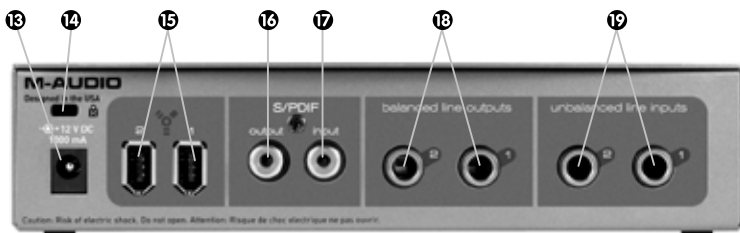
11. ヘッドフォン出力端子

このステレオ1/4TRS出力端子は出力信号をモニタリングするヘッドフォンを接続します。ボリュームレベルは出力レベルコントロール (10) で調整します。

12. 電源インジケータ

FireWireバス電源またはAC電源アダプタによりFireWire Soloの電源がONの時にLEDが点灯します。

リアパネルの接続端子



13. AC入力端子

付属のACアダプタを接続します。お使いのコンピュータのFireWire端子が4ピンで、FireWire Soloを6ピン-4ピンのケーブルで接続する場合、またはFireWire SoloをスタンドアロンのA/Dコンバーターとして使用する場合、付属の電源アダプタを接続する必要があります。6ピン-6ピンのFireWireケーブルで接続する(電源供給が可能)場合、電源アダプタは必要ありません。

14. Kensingtonロック端子

この端子は標準のKensingtonタイプの盗難防止用セキュリティケーブル対応です。

15. FireWire端子

FireWireSoloには2系統のFireWire (IEEE 1394) 端子が装備されています。1つはコンピュータと接続し、もう1つは外部機器と接続しスリーブとして使用します。

16. S/PDIF出力端子

S/PDIF同軸 (RCA) デジタル出力端子です。

17. S/PDIF入力端子

S/PDIF同軸 (RCA) デジタル入力端子です。

18. Line出力端子

1/4 TRS (バランス/アンバランス) アナログライン出力端子です。フロントパネルの出力レベルコントロール (10) のノブで出力信号をコントロールします。

19. Line入力端子

1/4 TS (アンバランス) アナログライン入力端子です。フロントパネルにあるフロント/リアパネル入力セレクト (5) が[Rear]の内に入った状態の時に有効です。この端子からの入力信号はDAWソフトウェアでステレオ入力ペアとして表示されます。

FireWire Soloの設置

注意： FireWireSoloをコンピュータに接続する前に、必ずドライバのインストーラーを先に実行して下さい。

ドライバのインストール後に一旦コンピュータを終了 (シャットダウン) してコンピュータの電源を切って下さい。コンピュータのFireWire端子が6ピンの場合には、FireWireSoloとコンピュータをFireWireケーブルで接続してからコンピュータの電源を入れて下さい。

コントロールパネルソフトウェア

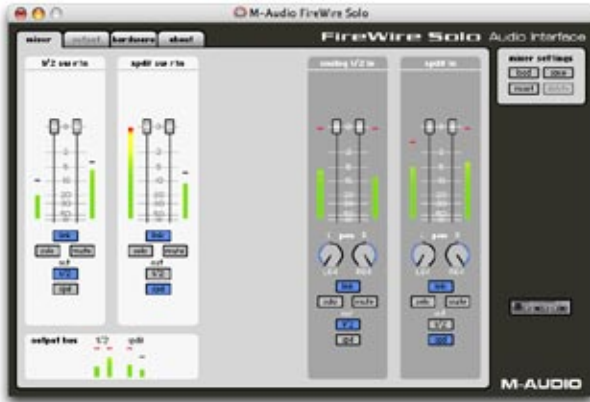
FireWireSoloのコントロールパネル・ソフトウェアは、ドライバのインストールが終了すると同時にコンピュータのシステムにインストールされます。コントロールパネル・ソフトウェアの起動方法：

Windows - 画面右下のシステムトレイにある小さな赤いノブの形のアイコンをダブルクリックするとコントロールパネル・ソフトウェアが起動します。

Mac - システム環境設定の中にFireWire Soloコントロールパネルがあります。

Mixer (ミキサー) ページ

Mixer (ミキサー) のページでは、FireWireSoloのアナログ入力とデジタル入力からのオーディオ信号とDAWアプリケーションからの4チャンネルのソフトウェアリターンへのルーティングやコントロールを設定します。入出力レベルメーター、レベルコントロール、ステレオリンク、ミュート機能なども設定できます。



Hardware (ハードウェア) ページ

HardwareページではFireWire Soloの重要な機能や情報にアクセスできます。



■ **Sample Rate (サンプリングレート)** - Sync sourceで現在選択されているソースから検出されたサンプリングレートを表示します。

■ **ASIO/WDM (バッファサイズ)** - このフィールドでは、ASIO/WDMドライバのシステムメモリのオーディオ/バッファ使用率を表示します。バッファサイズを小さくするとレイテンシー（入力信号がソフトウェアを経由して出力されるまでに生じる遅れのこと）も低くなりますが、低速システムでは適切に動作しないこともあります。

■ **Sync Source** (シンクソース) - Sync SourceではFireWire Soloのinternal (内部) クロックまたはexternal (外部) から選択ができます。

■ **S/PDIF Output Source** (S/PDIF出力ソース - Mixerを選択すると、このトロールパネルソフトウェアのミキサーでS/PDIF出力に割当てられた信号はS/PDIF出力端子にルーティングされます。Pass Thruを選択すると、AC3やDTSのようなサラウンドエンコードデータがS/PDIF出力にルーティングされます。

お問い合わせ先

テクニカルサポートへのご質問は、M-Audioのウェブサイトwww.m-audio.comからテクニカルサポートのフォームにご記入になりオンラインでお送り下さい

E-mailの場合

win-support@m-audio.co.jp (Windows)

mac-support@m-audio.co.jp (Macintosh)

株式会社エムオーディオジャパン

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内2-18-10

電話番号：(052) 218-0859

Fax：(052) 218-0875



